

立川市第3次図書館基本計画(素案)の概要

教育委員会資料
令和2年2月17日
教育部図書館

第1章 計画の策定にあたって P1~2

第1章では、計画策定の背景、目的や計画の位置づけなどを記載しています。

立川市第4次長期総合計画 (平成27(2015)年度~令和6(2024)年度)

将来像：にぎわいとやすらぎの交流都市 立川

後期基本計画 (令和2(2020)年度~令和6(2024)年度)

都市像：育ち合い、学び合う文化の香り高いまち

政策：子ども・学び・文化

施策：生涯学習社会の実現

国：子供の読書活動の推進に関する基本的な計画

都：子供読書活動推進計画

立川市第3次図書館基本計画 (令和2(2020)年度~令和6(2024)年度)

立川市第4次子ども読書活動推進計画

第2章 図書館の目指す姿 P3~6

第2章では、本市における図書館施策、計画の体系、本計画の基本的な考え方について記載しています。

基本理念：身近な情報拠点として、くらしに役立ち市民の学びを支える図書館

図書館づくりの5本の柱

①身近なところにある図書館
②くらしに役立つ図書館
③親しみやすく利用しやすい図書館
④だれでも利用できる図書館
⑤読書の自由を保障する図書館

施策の柱1
学びと課題解決を支援する図書館

施策の柱2
くらしに役立ち利用しやすい図書館

施策の柱3
図書館の効率的・効果的な運営

9の基本事業と24の取組事項

第3章 計画の取組項目 P7~19

第3章では、3つの施策の柱に基づいた9の基本事業と24の取組事項を記載しています。

施策の柱1
学びと課題解決を支援する図書館

定期的に収集方針を見直すとともに、限られた保存スペースを有効利用できるよう資料の除籍・保存方針についても随時見直し、多様化・高度化した利用者ニーズに対応しながら、新鮮かつ魅力的な書架を提供していきます。
また、利用者に対し、課題解決の支援や情報提供が的確にできるよう、レファレンスサービスの充実を図り、利用者が自発的に検索や調べものができるよう、特定のテーマや課題について、資料や情報を探すための手引書(パスファインダー)の作成や、「よくある質問(レファレンス事例集)」を充実していきます。

基本事業1：計画的な資料の収集・保存

1 収集・除籍方針や基準の定期的な見直し
2 図書資料の計画的な収集・保存
3 視聴覚資料の計画的な収集・保存
4 地域・行政資料の計画的な収集・保存
5 デジタルアーカイブ化の推進

基本事業2：知的好奇心や学習意欲に対応したサービスの提供

6 レファレンスサービスの充実
7 地域の特性やニーズに応じた図書館サービスの提供
8 課題解決と学習支援

基本事業3：庁内各部署や地域関連機関との連携・協力

9 庁内各部署との積極的な連携
10 地域関係機関や他自治体との連携

基本事業4：多様な利用者に応じた図書館サービスの提供

11 利用者ニーズの把握
12 高齢者・障害者のための利便性向上
13 国際化に対応した図書館サービスの推進
14 電子書籍への対応について調査・研究
15 子ども読書活動推進計画の取組の推進

基本事業5：積極的な情報発信

16 広報活動の推進
17 企画(テーマ別)展示・イベントの充実

基本事業6：市民参加の促進と連携

18 ボランティア団体等への支援と連携

基本事業7：図書館施設・機能の充実

19 中央図書館の果たすべき役割の検討
20 地域の情報拠点としての地区図書館運営
21 ニーズに応じた貸出・返却サービスの検討

基本事業8：効率的な管理システムの構築と環境整備

22 多様な情報媒体に対応したシステムの調査・研究
23 図書館内Web環境の整備

基本事業9：図書館職員の人材育成

24 専門性の高い職員の育成と確保

施策の柱2
くらしに役立ち利用しやすい図書館

読書の支援だけでなく、問題解決に必要な資料・情報の提供、蔵書資料の有効活用など学習活動への支援が求められており、広報紙や図書館ホームページ、館内掲示等だけでなく、企画展示や読書ウィークなどを通じて積極的に情報発信していきます。
また、市民ニーズの複雑化・多様化により、ビジネス・就職等生活に直結した資料や情報に対する要望等が高まっており、細分化したニーズに柔軟に対応していくとともに、市境周辺市民の利便性向上の定着化と、さらなる地域間交流により、本市が目指すまちづくりの将来像「にぎわいとやすらぎの交流都市立川」につなげていきます。
利用者の関心が高く、利便性向上につながるデジタルアーカイブ化などのデジタル情報サービス提供の可能性について、調査・研究を進めていきます。

基本事業1：計画的な資料の収集・保存

基本事業2：知的好奇心や学習意欲に対応したサービスの提供

基本事業3：庁内各部署や地域関連機関との連携・協力

基本事業4：多様な利用者に応じた図書館サービスの提供

基本事業5：積極的な情報発信

基本事業6：市民参加の促進と連携

基本事業7：図書館施設・機能の充実

基本事業8：効率的な管理システムの構築と環境整備

基本事業9：図書館職員の人材育成

施策の柱3
図書館の効率的・効果的な運営

図書館利用者への利用環境の更なる利便性向上のため、無線LANの導入等、図書館内Web環境の整備を図るなど、急速に進んでいる情報媒体の多様化に対応できるシステムを構築していきます。
また、平成27(2015)年4月より、地区図書館全8館の運営体制が指定管理者による管理・運営へ移行し、中央図書館と地区図書館との連携強化や情報の共有化を図っているところです。
地区図書館との連携強化や情報の共有化、統括館としての中央図書館の果たすべき役割等について検討を進め、効果的かつ効率的な図書館運営を推進していきます。

基本事業1：計画的な資料の収集・保存

基本事業2：知的好奇心や学習意欲に対応したサービスの提供

基本事業3：庁内各部署や地域関連機関との連携・協力

基本事業4：多様な利用者に応じた図書館サービスの提供

基本事業5：積極的な情報発信

基本事業6：市民参加の促進と連携

基本事業7：図書館施設・機能の充実

基本事業8：効率的な管理システムの構築と環境整備

基本事業9：図書館職員の人材育成

第4章 計画の推進にあたって P20

第4章では、計画の推進にあたって、第2次図書館計画の取組状況、今後の図書館運営、計画の進捗管理について記載しています。進捗管理については、第3次図書館基本計画を踏まえ、図書館サービス及びその他図書館の運営に関する事業計画を年度ごとに策定し、図書館行政の計画的な推進を図っていきます。

参考資料等 P21~53

参考資料として、本市図書館の概要、沿革、年度別利用状況、多摩地区26市立図書館利用状況等を掲載しています。
また、平成29年度立川市図書館利用者アンケート調査結果、立川市図書館基本計画策定委員会設置要綱、立川市第3次図書館基本計画策定経過も掲載しています。

